# 工業っ子

No. 159
―発行日―
2017.11.20
―編集―
長崎工業高校新聞部
―発行―
長崎工業高校新聞部


# 祝!八十周年 長工の可能性は無限大 記念式典

**十一月三日に本校体育館で創立八十周年記念式典が執り行われました。八十周年の節目を迎えた長崎工業高校を祝うために多くの来賓の方が訪れました。体育館は引き締まった雰囲気に包まれました。**

八十周年の歴史を振り返る動画から始まった記念式典。短い時間に凝縮された映像を見ることで改めて長工の歩みを感じることができました。

その後、長工の歴史にとっても大きな出来事である七十二年前の長崎への原子爆弾の投下の犠牲になられた本校の職員・生徒へ黙祷を捧げてから開式。続く来賓の方からの祝辞や校長先生の式辞から長工への大きな期待が込められていました。

最後は全校生校歌を斉唱し閉式。体育祭とはまた違う八十周年を想う気持ちをこめた校歌斉唱となりました。長工生の名に相応しくありたいと思った式典でした。

▶校長式辞

▲八十周年式典開式

## 記念講演「技術だけではなくココロも」林田さんに訊く

八十周年式典の記念講演をされた本校工業化学科卒業で現在は株式会社ワールドメタルの会長をなさっている林田英徳さん。講話が終わった後、校長室で林田さんにお話を伺いました。

**Q講演しての感想を。**

―もう少し現実離れした内容になってしまったので、もっと現実的な話をしたかった。

**Q工業生に期待すること。**

―工業高校には就職、進学と多様な方向性があります。いろんな可能性を秘めているので、積極的な挑戦をしてほしい。

**Qもう一度工業生に戻れるなら何がしたいか。**

―勉強しなおす。勉強することはいいことだ。今でもNHKの番組を見て勉強することもある。

**Q変化の激しい世の中に対応するためには。**

―どんなことがあっても受け入れる実力を養う。これからの時代技術力は勿論だが、コミュニケーション力も大事になる。

**Q以前、新聞部の先輩が取材した際に「退職後に焼き鳥屋を」とおっしゃられていましたが。**

―小規模だが実際にやっている。海外からの輸入品に頼らず、国内産の本当においしい肉だけを提供している。

会長職だけでなく、ミツバチ研究会などのユニークな会にも参加され、アクティブな林田さん。いつまでも挑戦し続けるパワーを感じました。

◀「積極的な挑戦が大切」

## 今、何を優先しますか。

突然ですが、皆さんの「今、したいこと」は何ですか。

「ゴロゴロしたい」や「遊びたい」と思う人も多いのではないでしょうか。なかには「将来に向けて勉強したい」「もっと練習をしたい」と思う人もいるかもしれません。が、よくあるのが、やらなければならないときに限って「今、しなければならないこと」とは相反することしたいと思う心が生じることです。

皆さんも「課題があるけど、遊んでから課題をする」という体験がありませんか。

私は「遊んでから」ではないですが新聞部の活動をする時に「重要な記事があるけど、面倒だから別の簡単な記事を先に書く」ということを度々してしまうことがあります。面倒な課題は後回しにして簡単なもの、楽なものに逃げる感じです。つい、自分の「したい」ことを優先しているのです。

この問題には二つの解決策があると思います。一つ目は我慢する方法です。「しなければいけない」ということは今それを後回しにしてもいつかは必ずする時が来るということですから、「今は遊びたいけど、先に課題をしよう」というように考えるのが最善です。

二つ目はデッドラインを見極めること。極論を言うと期限に間に合えば過程はどうであれ構いません。早めに取り組むのが一番ですが、早めに取り組んだからと言って期限が早まる訳ではないからです。ですが、これが習慣になると不意なアクシデントに対応できず結局、期限に間に合わないことになりかねません。あくまで計画的に行動することが大切です。

「しなければならない」ことが嫌なことなんて当たり前ですが、それを乗り越えることで人として成長できるのではないでしょうか。

（渡部）

## 「∞」の想いを込めて ―モニュメント除幕式―

▼挨拶をされる田坂さん

式典前日、正門付近にてモニュメント除幕式が行われました。式には同窓会の会長をはじめモニュメントを製作された墨東建材工業株式会社会長田坂勝正さんが出席されました。

除幕は、生徒会長、校長先生、同窓会会長、そして田坂勝正さんの四名の手で行われ、無事、モニュメントがその姿を現しました。今回制作された八十周年記念モニュメントのテーマは「永遠」―メビウスの輪―をモチーフに、これからも永遠に長工が続きますようにという思いが込められています。

「正面から見ると『8』の字に見えるが、横から見ると『0』に見えるようにデザインを施した」と話されるのは島久幸さん。島さんは創立五十周年の記念モニュメントのデザインも担当されていました。

▲モニュメントと共に

## 墨東建材工業株式会社相談役 田坂さんに訊く

除幕式後、田坂勝正さんにお話を伺いました。

**Q八十周年を迎えて一言**

―よくぞここまで来たなって感じです。

**Qどのような気持ちで制作されましたか**

―八十周年を迎えて祝福と感謝の気持ちを込めて作りました。

**Q制作期間はどのくらい**

―三ヶ月間。五十周年のときに作ったモニュメントと比べてもかなりデザインが複雑でとても苦労しました。

**Qこれから長工生に期待すること**

―長崎工業は本当に環境というか地盤が良くできているから、うまく有効活用して夢を実現してほしい。

また、除幕式に参加した生徒会J3早田優太君に感想を聞くと「モニュメントもそうですが、制作者である田坂さんのスピーチで制作してくださった方々の熱い思いがとても伝わりました。それだけで思いがこもったモニュメントを頂いたのでこれから先、九十周年、百周年と感謝の気持ちとともに大切にしていきたいです」とのこと。

無事、八十周年を迎えた長崎工業高校。これからも技術に更なる磨きをかけ、たくましい長工を永遠に続けていけると良いなと思います。

## 今日の一枚 ～特別編～

▼魂込めて制作しました

今日の一枚は新聞部が制作した八十周年記念ロゴマークです。式典中は体育館入口に配置され、式典後はLL教室で展示していました。

「バラの折り方教えて」と訪ねてくる方もいるほど好評で、夏から取り掛かった苦労が報われた気がします。使ったバラの総数は約1123個。来年は何を制作するのでしょうか。

（渡部）

## 青春日記

Hey!元気―?はっ、すいません、つい疲れで…。部活をしていると時間が経つのが早いです。工業展が終わりました。気づけば工業展期間中、たびたび新聞部のLL教室とJ科の四階パソコン室を往復。教室棟には行き暇もなく、まるで体育の時間前の移動なみの恐ろしさ。このままでは工業展の思い出が何も無い。ということでせめてもの思いで購入したのが、J科の福祉機器班が売っていたミニクリスマスツリー。福祉機器班と3Dプリンター班の努力の結晶です。いやぁ、綺麗でした。

さて、工業展の思い出に耽る間もなく我々に襲い掛かる期末テスト。テストはさておき、三年生にとって残るイベントはついに卒業式のみとなりました。思い起こせば、中学校の卒業式では校歌斉唱時、周りがみんな泣いて声が出ず、私ともう一人の声だけが体育館に響き渡り、なんだか二人だけの発表会をしているような気分になったものでした。

高校の卒業式に向けて私には願いが一つあります。長工の卒業式はとてもシンプルで歌は校歌のみ。是非ともこのままでは感謝と旅立ちの思いをこめて「蛍の光」など歌いたいのです。そうして最後の校歌で気持ちを最大限に盛り上げ、締めたい！今年度は八十周年。高校時代最後の思い出として……よろしくお願いします。学年主任の江川先生、このお願い、叶えられるでしょうか。

（塚根）

# 観光通りで「長工」体験 ―技能まつり―

十一月五日(日)に開催された「技能まつり」。観光通り全体で展開されるこの催しでは県内で活躍される多くの職人の方々が高い技術を披露されます。長工のブースもあり、機械システム科、インテリア科、ロボット研究部ロボット班が参加しました。

## 伝統の龍踊り列車 機械システム科

機械システム科は、課題研究で製作した龍踊り列車と新幹線「ドクターイエロー」をお披露目。通りかかった子供たちは動く乗り物に目を奪われていました。列車に乗る子供たちは笑顔満開。

メンバーの一人のP3廣畝功一郎君に話を聞くと「特に子供たちが楽しんでくれた。人気が出るように、ひかり号からドクターイエローへデザインを変更したことが良かったのかもしれない。満足度は十割。言うことなし」との答えが返ってきました。担当のP科の松瀬先生は「自分たちの技術が、子供たちを楽しませることに活かせて良かった。龍踊り列車の頭と玉を連動させるのに苦労した。満足度は九割。楽しんでくれた子供たちが将来長工に来てくれたら嬉しい」と話されていました。

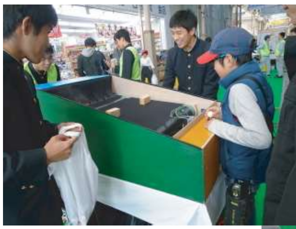
▲一緒にものづくり

## 内容てんこ盛り！ ロボット研究部

ロボット研究部は改良した「CHOKO君」とロボットの交流や製作したロボットの操縦体験、ロボットの傍らには「障害物避けゲーム」があり、内容盛りだくさんの展示でした。「CHOKO君」は昨年度の角ばったフォルムから丸みを帯びたフォルムへ。何かモデルになったものがあるのでしょうか。

代表のM2溝口楓太君は「多くの人に遊んで貰えた。子供たちが遊びやすいように工夫をした。満足度は八割。トラブルに対応できなかったから」と詰めの甘さを悔やんでいました。

顧問の岩田先生は「子供たちが多く来てくれて大盛況だった。今年は展示物が多く、限られたスペースだったのでコースを短縮するなどして工夫した。満足度は七割」と感想を話されました。


▲避けて避けて！障害物

▼それいけ！龍踊り列車

## 体験型は大賑わい インテリア科

インテリア科は昨年までの展示に加えて、かんながけ体験や椅子作り体験、組み紐体験。子どもからお年寄りまで長蛇の列ができていました。

I2許冬威君は「みんな楽しんでくれた。子供でも楽しんでもらえるように工夫した。満足度は九割。自分たちの技術が未熟だったから」と謙虚な感想を述べていました。

I科の北川先生は「みんな楽しんでくれて、準備したかいがあった。より多くの人が楽しめるように、新しいものを加えた。ブースは盛況でよかった。生徒たちも一生懸命やっていた」と満足そうに話されていました。

「技能まつり」には板金やフラワーアレンジメント、陶器、クレープ製作体験など、様々な団体がそれぞれの分野で体験ブースを設置し、参加していました。

長崎の技術の祭典とも言える技能まつり。今年も多くの人が訪れ、賑わいを見せました。

是非皆さんも、来年訪れてみてはどうでしょうか。

## ものづくりの後継者育てる 主催者・島山秀朝さんにインタビュー

今回、技能まつりの主催者である島山秀朝さんにお話を伺いました。

**Q今年の技能祭はいかがでしょうか。**

―人がたくさん訪れて、大盛況だった。

**Q工業生が出展する意義は何ですか。**

―より年の近い高校生が小さな子供にものづくりの楽しさを教えることで、身近に感じて貰えること。

◀想いを熱く語られる島山さん

**Q長工のイメージは。**

―ものづくりの大会で全国優勝をするなど、とても優秀。よく頑張っている。

**Q工業生に期待することはなんですか。**

―是非将来はものづくりの仕事について、長崎で活躍してほしい。

やはり工業生には地元で活躍してもらいたいようです。我々工業生への期待の大きさが伺えました。

## トンネルDE女性現場見学会 現場で生きいきと活躍する女性

十一月五日、西彼杵郡時津町日並郷久留里トンネルで開催された久留里トンネルDE女性現場見学会。生徒三十三名と引率二名の計三十五名が参加。本校からは一、二年生の建築科十一名、インテリア科五名、新聞部三名が参加しました。

この見学会では、まず建設中のトンネル内で使われる機械について女性技術者の方から説明を聞きながら見てまわりました。続いて実際に現場で働く女性による講演会、測量などの体験イベントや女性技術者と懇談して建築業に関する知識を深めるトークタイムなどが行われました。女子限定の企画ということもあり、会話が弾む和やかな時間となりました。

▲トンネル掘るぞ！

この見学会には、本校以外に長崎北高校・諫早農業高校・長崎商業高校などからも参加。他校の生徒に感想を聞くと「土木の先輩が就職していて楽しそうだったから参加した。楽しそうだと思った」（諫農・一年生）「企画に興味があったので参加した。楽しかった」（北高・一年生）とのこと。

また、本校インテリア科一年生の参加者は「建設に関する話を聞きたくて参加した。女性技術者が活躍できるきっかけを知ることができた」（大脇花音さん）「将来の進路選択の参考にしたくて参加した。機械の試乗体験が、印象に残った」（橋口あかりさん）と感想を話してくれました。

**所長の本田和幸さん**に開催した理由や感想などを伺うと「実際の現場を見て学んでもらうために開催しました。トークタイムで女性技術者と参加者が話すのを見ていると、希望に溢れた表情で良かった。あんな子たちに土木の道を歩んでもらえると嬉しい」とのこと。**女性技術者・工事係の迫綾子さん**は「参加者の話を聞くと、みんな目標を持って見学に来てくれていることが分かり驚いた。またこのような機会があれば、実際の作業のことをもっと話したい」と笑顔で話してくれました。

日々の生活の中でも身近な建設物の一つであるトンネル。建設に携わり今も活躍している技術者の努力を肌で感じると共に女性の活躍を知る体験となりました。

▲現場の女性の生の声を聞く

## シリーズ ロボコン道2 ⑨ 技能まつりにて

▲CHOKO君

十一月五日、工業展の翌日に技能まつりが行われました。私たちにとってはこれが今年最後の大きなイベント。前日まで稼働していなかった体験ゲームや、我が部の三代目マスコット「CHOKO BOY」も投入し、チーム長工の一員として参加してきました。

忙しかった日々も過ぎ、オフシーズン…の前に片付け。三年生が引退し、少し広く感じる部室を清掃中です。ロボット研究部は入部希望者を歓迎しています。気になる方はぜひ見学に！（越川）

## 帰り道編 てふ五生!!! パート③ ～ラッキー～

※ ねこ好きにはたまらない

## 一年生な日々

体育祭、工業展と二学期の二大行事も一段落し、気付けば期末テストまであと約一週間。私は前回の実力テストのとある教科で赤点を取りそうになりました。最近はその記憶がフラッシュバックして、ひそかな焦りが。今回はテスト勉強を早めに始め、期末テストに備えています。テストで高得点をとり、安心して二学期を乗り切りたいです。

さて、私は先週、観光通りにて技能まつりが開催され、長工の出展しているブースを取材しに行きました。この日の観光通りには端から端まで木工や陶芸、お菓子作りなど体験ができるブースがありました。私も取材の間に畳制作を体験させていただきました。不器用な私にはとても大変な作業で、特に縁はりの角部分の折込みには大苦戦しました。何とか完成させた作品を自宅に持ち帰り和室の畳と大きさを比較すると、十数倍もの差がありました。畳職人の苦労を改めて実感しました。何気なく使う畳にも感謝の意を忘れず使用したいと思いました。

立冬も過ぎ、学ランを着ていても寒さを感じます。毎朝あまりにも寒く憂鬱で目を覚ましてもすぐ二度寝することが多くなりました。遅刻しないように気を付けたいと思います。（小岩）

## 編集後記

工業展号だと思いました？残念！式典号でした。次回が工業展号なのであしからず。今号は忙しすぎた工業展が無事終了し、穏やかな心持ちで制作できました。

工業展の事後インタビューも完了しました。ご協力感謝です。